

年 組 名前:

問1

建築家・隈研吾^{くまけんご}さんは、設計を担当する西桂町の新庁舎を、どんなイメージにしたいと
思っていますか。

見出し①に入る言葉は何ですか。

① 「 _____ 」

問2

講演の中で、ポストコロナ後
(コロナ感染が落ち着いた後)に、
いろいろなことが変わっていく
だろうと指摘しています。

2つ挙げてください。

-
-

問3

あなたが通う中学校が建て替えられることになったら、どのような外観や形状、設備、機能などを取り入れてほしいですか。いくつでも書いてください。

-
-
-
-

庁舎

西桂 隈研吾事務所が設計

西桂町は28日、西桂中多目的ホールで、建築家の隈研吾さんによる講演会を開いた。2023年完成を計画している町庁舎建設で隈研吾建築都市設計事務所(東京都港区)が基本設計と実施設計の策定を担うことから実現した。

隈さんは「コロナ後の都市と建築」と題して講演。昨年頃から続く新型コロナウイルスの感染拡大について「転換期を越えた折り返し地点となった」と語った。ポストコロナでは大都市のビルで働くライフスタイルや空気の換気に関心する生活などが変わっていくとし「コロナが落ち着いた後



たろうといったことを本格的に考える時代が来ると思う」と話した。

このほか隈さんは東京五輪・パラリンピックのメインスタジアムとなった国立競技場、JR山手線の高輪ゲートウェイ駅などこれまで手掛けた建築物を写真で紹介。質疑応答では、西桂町の新庁舎について「そこにいると自分の居間に帰ってきたと思うような優しい空間をつくらたい」と語った。

約160人が参加。親子で講演を聴いた甲府工高3年の権守椋太郎さん(18)は「勉強になることばかり。隈さんが手掛けた建物の一つ一つはシンプルでいて特徴があり、発想力に驚いた」と話した。

〈遠西義治〉

西桂町新庁舎やこれまで手掛けてきた建築物などについて説明する隈研吾さん
|| 西桂中

(2021年11月29日付 山梨日日新聞21面)